

切手雑学クイズ【日本編】その1 回答

1. 日本で最初に発行された切手はなんと呼ばれているでしょう？

答え：C 龍文切手

最初の切手は、1871（明治4）年に発行されました。明治時代に入っていましたが、まだ江戸時代のお金の単位「文」が使われていたため48文、100文、200文、500文の4種類が作られました。向かいあう龍と単位の文で、「龍文切手」と呼ばれています。



2. 1543年に鹿児島県の種子島に漂着したのはどこの国の人だったでしょう？

答え：B ポルトガル

1543年、ポルトガル人をのせた中国の船が種子島に漂着しました。島を治めていた種子島時堯はポルトガル人が持っていた鉄砲を買い、家臣にその使い方と製造法を学ばせたといわれています。最近では、漂着したのは1542年とする説もあります。

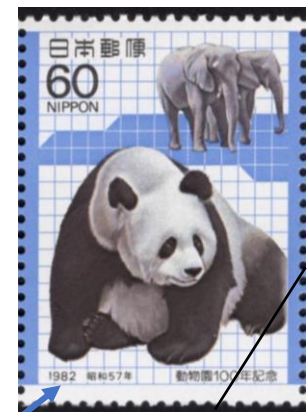


ポルトガル領マカオからは、種子島の人々が鉄砲の練習をする様子が描かれた切手が、1993年に発行されました。

3. 日本最初の動物園の開園は何年でしょう？

答え：C 1882年

1882（明治15）年3月20日、日本最初の動物園として上野動物園が開園しました。それまでは美しい鳥やめずらしい動物は「見世物小屋」で見られるものですが、動物を研究して飼育する博物館附属施設として開園しました。9月には日本最初の水族館が公開され「うをのぞき」と呼ばれて親しまれました。



1982年に100年記念の切手が出されたということは、1982年-100年で、1882年が正解！
ちょっと難しかったかな？